

戦略Note

リモート研修の進め方

～いざ、オンライン教育のニューノーマルへ～

IDEA DEVELOPMENT (株) 代表取締役 Jason Durkee

■withコロナ時代の教育研修を成功させよう

新型コロナウイルス感染拡大防止の事情から「研修」はゼロベースで問い直しが求められている。「行くな／来るな」という地域間移動制限に加え、「集まるな／しゃべるな／近寄るな」という自粛要請によって集合研修やワークショップは全否定されたに等しい。そうはいつても、春先の内定者・新入社員を筆頭に、各種の教育研修ニーズまで蒸発したわけではない。緊急対応を模索し、半ば力づくで出勤からテレワークへ切り替えたのと同様、オンライン研修に踏み出した企業も多いはずだ。では実態はというと、まず機器の整備が課題だったかもしれない。パソコンは？ カメラは？ マイクは？ 回線は？ 部屋は？ といった次元だ。次に直面した課題は、プラットフォーム(ソフトウェア)の選択ではなかったか。Zoom？ Slack？ Teams？ Google Meet？ と試行錯誤する担当者声は多く聞かれた。しかし、研修の目的と成果に立ち返れば、コンテンツ構成や運用の設計こそ巧拙の差が出る戦略要素ともいえる。緊急対応で始まったオンライン研修は、withコロナ時代の当たり前(ニューノーマル=新常識)に次元を移しつつある。経験豊富にして多層的にノウハウを蓄積しているプロフェッショナルに、注目ポイントを解説いただいた。(編集部)

CONTENTS

- No.1** リモートラーニング 2×2：4つのスタイル
- No.2** 集合研修とリモート研修の比較
- No.3** リモート研修に必要なテクノロジー
- No.4** リモート研修の主人公
- No.5** リモート研修の1日研修(単発)を成功させるコツ
- No.6** リモート自己学習に必要なテクノロジー
- No.7** リモート自己学習の半日研修(単発)を成功させるコツ
- No.8** リモート研修×シリーズ 設計のコツ
- No.9** リモート自己学習×シリーズ 設計のコツ
- No.10** 必要なリモートスキル 1：リモートワークの基本
- No.11** 必要なリモートスキル 2：リモートマネジメント
- No.12** 必要なリモートスキル 3：リモートセールス
- No.13** 必要なリモートスキル 4：リモートストレスフリー
- No.14** 総合運用：リモートラーニングの利点と効果的な使い方
- No.15** 競争力強化：リモートラーニングによって風土と働き方を変える

■Jason Durkee (ジェイソン・ダーキー)：

米国シアトル生まれ。1992年に来日し上智大学に入学。卒業後、研修企画会社に就職し10年間勤務。2003年に独立起業。日本を代表する大手企業から外資系企業まで幅広い業種のクライアントに対して、研修プログラムの企画および講師として、5万人以上の能力アップとビジネス成果の向上に貢献した実績を持つ。著作に『ビジネス英語の技術』『ガツンといえる英語』(Japan Times) ほか。

■IDEA DEVELOPMENT(株) アイディア社：

企業向け研修の企画・実施サービス、企業内人材育成のコンサルティング・サービスを展開。優れたアイデアを生み出すクリエイティブな力、価値を生み出すコミュニケーションができる力、グローバル競争を勝ち抜く力、3つの「力」の開発に定評がある。

- 住所：東京都新宿区新宿2-2-10 サンエプラザ新宿御苑606
- TEL：03-5368-0890
- URL：https://ide-development.com

